

教育目標

◎ 進んで学び、よく考える子（知）

各教科の基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付けさせるとともに、それらを活用して思考力、表現力、判断力などの能力の向上を図る。また、児童のよい点や進歩の状況を評価し、学習意欲や向上心を高め、学習習慣や学び方などの「学習を支える力」、自ら学び自ら考える能力等を育成する。

◎ ゆたかな心の子（徳） ◎ 進んで実行する子（徳）

命の大切さや思いやりの心、善悪の判断や公共心などの規範意識、美しいものに感動する豊かな感性、自立心、自己抑制力、共生の心などの「ゆたかな心」を育て、協力してがんばることをねばり強く、最後まで進んで「実行する子」を教育活動全体で育成する。

◎ たくましい体の子（体）

健康の保持増進や体力の向上は、学校生活のみならず人が生涯にわたって生きていく上の土台である。運動に親しみ、健康で安全な生活が出来る能力と態度を養う。

重点目標

◎ 人の話をよく聞き、自分の考えを発表する

自分のめあて、課題や目標に向かってじっくり粘り強く取り組む力を育てる。

本校が目指す学び合いの授業を通して、教師や友だちの話を誠実に聴き合い認め合う力、素直に表現できる力、よく考え課題追究する力など、主体的に粘り強く学ぶ能力・態度を育てる。

本校の合言葉

◎ いきいき！「元気」 にこにこ！「あいさつ」 はきはき！「発表」

大きな可能性を秘めた子ども達が、結果を恐れることなくチャレンジ精神を持って 前向きに努力し挑戦し続ける人であってほしい。生き生きと元気で毎日の学校生活を 楽しむ。明るく笑顔でかわすあいさつが校内を包む。学習中は進んで発表する場面を 設定する。

子ども達が、達成感・成就感を持って一日一日を過ごしてほしい。という願いを込める。さらに楽しさは、やる気を引き出し、意欲を高め、創意工夫を生み成長を保障する原動力となるものである。

子ども達が楽しく充実した学校生活を送るには、学習内容や方法、活躍の場、良好な人間関係づくりなど一人一人を尊重し生かす学習環境づくりが重要である。

本校の全ての児童が、3つのキャッチフレーズを常に意識して学校生活を過ごして 欲しい。

3 基本方針

学校教育は不易の課題である、基礎・基本を明確に確かな学力の定着と心の教育や食育・健康的な生活づくりを推進するとともに、情報化、国際化、少子高齢化、環境問題、価値観の多様化などを背景とした現代的課題解決に向けた教育を進めなければならない。

本校ではこれを「かかわり」をキーワードに進めていきたいと考えている。

(1) 子どもとのかかわり・・・ゆとりの中で生きる力の育成

- ① 子ども一人ひとりの良さや可能性を見つけ、生かす教育活動を展開する。
- ② 日常のふれあいを大切に、個に寄り添い、集団における個別的接近に努める。
- ③ 子どもたちがかかわる活動を充実させ、人と人がつながる体験を通して豊かな心を育む。
- ④ あいさつや早寝、早起き、朝ごはん、元気よく徒歩登校など、基本的な生活習慣確立に向け、学校と保護者・地域が協働する。

(2) 教職員とのかかわり・・・自己啓発の支援

- ① ことばとコミュニケーションを大切に、子どもたちの声を聴こうとする 姿勢を貫く。
- ② 社会の信頼に応えられる深い専門性と豊かな人間性を培う教職員研修を充実させる。
- ③ 教職員一人ひとりが政策形成能力を持って学校経営に参画し、組織体としての学校づくりに努める。
- ④ 教職員自身が悩みや問題を出し合い、協働することを通してサポート体制の強化を図る。

(3) 家庭・地域とのかかわり・・・開かれた学校づくり

- ① 情報公開をはじめ開かれた学校づくりを進め、家庭・地域との連携・協働の関係を深める。
- ② 学校の情報を発信するとともに、保護者・地域の願いを受け止めて、保護者・地域の学校教育への参画と協働を進める。
- ③ 学校組織マネジメントサイクルをもとに学校評価や学校評議員制度を有効活用して、学校教育改善を進める。
- ④ 教育課題や問題行動解決に向けて関係機関との連携を深める。
- ⑤ 幼・小、小・中、小・特別支援学校など他校種との連携を進める。